

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こども支援事業所 にじいろmunakata		公表日	令和 8年 3月 31日		利用児童数	37名		回収数	37	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
							ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	1					基準のスペースはあります。利用児が快適・安全に通わせるよう、スペースの確保や備品の配置等において、可能な限り工夫いたします。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	35			2		子供1人に対して何人の職員が配置されているのか分かりません。	職員配置は基準に比べ、多い配置としています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36			1			バリアフリーになっており、個々に合わせて適宜環境調整を行なっています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	36	1				子ども達の活動に合わせた空間にはなっていると思います。裸足で生活しているため掃除をしても汚れるのは仕方ないとは思っているのですが、大きな埃がついていたりする事もあります。	感染対策の高、毎日清掃・消毒を行っています。清潔が保てるよう細かな部分も出来るよう努めています。			
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1					面談等でも情報共有をさせて頂き、個々のニーズに沿った支援を行う事が出来るよう努めます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37						支援プログラムを基に個々に応じた支援を行い、ポータープログラムとの5領域と併せて支援プログラムでの5領域を踏まえて活動に取り入れています。			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37						アセスメントやポータープログラムの評価や検査結果等を踏まえ、個々に応じた個別支援計画を作成してまいります。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36			1			児童発達支援ガイドラインに沿って支援プログラムの5領域を含めた個別支援計画を作成し、実施出来るよう努めています。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37						今後も、個別支援計画に沿った支援が行えるよう努めています。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35				2		楽しく取り組めるよう遊びを取り入れた活動を行なっています。			
保護者 への 説明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	4	5	7			保育園・こども園などの併用がほとんどのため、活動機会はありますが、園外活動の頻度を増加を検討してまいります。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37						契約の際に丁寧な説明を心がけています。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37						必ず対面で児童発達支援計画を示しながら説明を行うようにしています。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34	1			2		1~2ヶ月に1回の頻度で親子療育、3ヶ月に1回の頻度で家庭支援を行い、個別面談で情報共有等をさせて頂いています。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができてきていると思いますか。	37						送迎時やHUGにて日頃の様子を共有しています。モニタリングや個別支援計画の説明時に現状・目標等の振り返りや確認を行っています。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37						定期的な個別面談や親子療育の際に、相談や助言等をさせて頂いています。必要に応じて随時面談をさせて頂いています。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37						利用児中心を理念として掲げ、利用児・保護者に寄り添う支援を心がけています。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	27	5	3	2			親子療育では普段見れない姿が見れたりして嬉しいですが、1~2ヶ月に1回の頻度で保護者同士の交流を含めた親子療育を行っています。			
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	1			1		アプリや電話でいつでも相談できる体制を整えています。利用を開始し始めた方には、こちらから様子をお尋ねいたします。			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37						HUGで連絡が取れるのでありがたいです。	日頃の様子はHUGを通じて情報伝達を行っています。必要に応じてお電話や面談をさせて頂いています。		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	35		1	1	HUGで写真が見れるので様子がわかりやすいです。	HUGや書面にてお知らせを行っています。また、法人内のブログにて活動の様子を公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37					引き続き十分に注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	3		6		各マニュアルに関しては、作成しており、契約の際に説明させていただいています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	3		7	子供に確認したところ、避難訓練などをした記憶がないとのことだったので、どちらともいえないとさせていただきました。	日によって利用児が異なる為、体験できない方もいます。訓練の活動報告は法人内のブログで公開しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	1		1		安全計画を作成し、ヒヤリハットやアクシデント報告も委員会で行っており、安全に配慮した環境調整を心がけています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	2		4		怪我をした場合や普段と様子が異なる場合等は、速やかに電話連絡にて報告等をさせて頂いています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37					事業所が安全な場所だと認識して頂けるよう努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	2			休みだと残念がっています。	利用児の興味関心や好みを探り、遊び取り入れた活動を行なうよう努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	37				出来る事が増え嬉しく思います。	利用児を中心とした丁寧な支援を心がけていきます。